

令和3年6月16日

学校法人三幸学園
沖縄ブライダルアンドホテル観光専門学校
校長 萩原 知子 殿

学校関係者評価委員会
委員長 真下 雄貴

学校関係者評価委員会実施報告

令和2年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1 学校関係者評価委員

- ① 真下 雄貴 (株式会社ビルネット 営業本部)
- ② 渡邊 丈晃 (株式会社共立メンテナンス 九州支店)
- ③ 岡田 真希 (飛鳥未来きずな高等学校 沖縄キャンパス主幹教諭)

2 学校関係者評価委員会の開催状況

令和3年6月16日(会場 沖縄こども専門学校 多目的実習室)

3 学校関係者委員会報告

以下「自己評価・学校関係者評価報告書」に学校関係者評価委員会コメントとして記載

以上

2020年度 学校法人 三幸学園 沖縄ブライダルアンドホテル観光専門学校 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 所 慎

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、ウェディング、ホテル観光分野の学校として「最幸の結婚式、旅行を通じて、日本そして世界の家族を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、ウェディング分野として「最幸の結婚式、旅行を創り上げることを通じて、新郎・新婦だけでなく、その家族、その人生も幸せにできるNo. 1のプランナー・コーディネーター、旅行を提供できる人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

教務目標 「明るい挨拶とありがとうであふれる学校」

退学率5%未満

① 前年度重点施策振り返り

2020年度退学率は18.2%であった。数値上、目標を大きく上回り、昨対比は+4.7%となり、本校の最重要課題である。新型コロナウイルス感染症対策に伴う、休校、分散登校、オンライン授業等がある中、直接的な他人との関わりが少なく、行事も中止や縮小、実施方法変更もあり、人間関係によるトラブルが物理的に減少したが、関わりが減ることに伴う協調協働ができず、情緒的なサポートも不足したが故に退学率が向上したと推測する。それが顕著に退学理由に出ており、1年生は入学動機が適切に進路指導をなされていない状況での入学となった者の進路変更と、心神耗弱による者が占めた。同時に職業の魅力で引っ張り切れなかったことも反省である。

2021年度は入学希望者の段階から教務が始まっていることを意識しながら正しく進路の導きを行うように、生徒募集活動から取り組んでいきたい。同時に2021年度はさらなる授業力向上に向けて魅力ある授業づくりに研修等を交えて取り組んでいく。

② 学校関係者評価委員会コメント

真下：退学率が昨年より+4.7%は残念なことであるが、入学希望者の段階から教務が始まっていることを意識しながら進路の導きを行うことは引き続き続けてほしい。

また、職業の魅力をもっと生徒に伝えていくことも大切なことだと思います。

三幸学園の教育方向性は間違っていないかと思いますが、より良くアイデアを出し合い職業の魅力等伝えていただきたい。

渡邊：三幸学園の実施されている展開は間違っていないので今後の頑張ってください。

岡田：特になし

3.評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

① 課題

人材育成像を掲げるものの、非常勤講師へは年3回の全体会議のみとなった。常勤・非常勤の一体化という意味での仕組みを作り、活かしていきたい。

③ 今後の改善方策

SankoGate(WEB 掲示板)を活用し、教職員間はもちろん、生徒や保護者との連携にも改善につなげていきたい。

④ 特記事項

なし

⑤ 学校関係者評価委員会コメント

真下:コロナ禍の中で常勤・非常勤講師の一体化を図るのはとても難しかったと思います。その中、非常勤講師への年3回全体会議を出来たことは、学校の教育理念である人材育成像を定める中でとても良かったのではないかと。また、SankoGateを活用し連携をはかっていくことも継続して行っていただきたい。

渡邊:ICTを学生と一緒に学ぶ姿勢が素晴らしいと思います。

岡田:特になし

(2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

① 課題

質の向上を目指したいが、慢性的なマンパワー不足と人材育成の停滞が課題。

② 今後の改善方策

教職員採用活動の強化を図る。

③ 特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

真下:教職員採用及び人材育成の強化を図っていただきたい。

渡邊:2年間限定キャリアチャレンジ制度はいつから実施されているか?→昨年より運用。

岡田:特になし。

(3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格(免許)取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

① 課題

関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修実施が少ない。

② 今後の改善方策

業界との繋がりが持てるように、講師派遣やインターンシップ以上の関係性構築が必要である。

業界連携が図れるようにインターンシップ先企業様との懇談会を実施予定。

③ 特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

真下:コロナ禍の中であるが、業界団体とも連携し情報を収集し関係構築を努めていただきたい。

渡邊・岡田:特になし。

(4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格(免許)取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	2
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4

① 課題

資格取得率の更なる向上

卒業生との関係構築

退学者の低減

② 今後の改善方策

資格取得 ⇒ 教科会の定期開催

退学率 ⇒ 現実的な数値目標の設定や、退学事前報告会等の開催

③ 特記事項

2020年度就職進路率100%達成(実質就職進路決定率89.7% 昨対+2.9%)

全国展開しているグループ校との連携により、資格取得に向けた傾向と対策を実施

オンライン授業の充実

全国ブライダルコンペティション 総合優勝

ウェディングプロデュース、観光プロデュースのリモート開催

④ 学校関係者評価委員会コメント

真下:就職進路率 100%は素晴らしい。

授業の質及び職業の魅力を生徒に伝え、退学率の低下に努めていただきたい。(前向きな退学は別とします)

渡邊:全国コンペティションでの成績等、学習の成果が高いと退学率低減につながると思うので引き続き頑張ってください。

岡田:特になし

(5) 学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	4
中途退学者への支援体制はあるか	4
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

① 課題

卒業生への支援について公開する必要がある。

② 今後の改善方策

支援体制の仕組化と、特に卒業生との繋がりを支援していく。

「同窓会 Sanko-Link」の活用と活性化

③ 特記事項

三幸学園緊急修学支援実施 全学生、教職員に3万円/1人の給付金、Wi-Fiルーター貸与

2020年度就職進路率100%達成(実質就職進路決定率89.7% 昨対+2.9%)

就職指導については、クラス担任と就職エリア担当のダブルサポートシステムを実施し、内定獲得まで導く体制づくりをしている。

④ 学校関係者評価委員会コメント

真下:ダブルサポートシステムはとても良い試みだと思います。

引き続き続けていただきたい。

渡邊:卒業生へのサポートが充実しており素晴らしい。

岡田:特になし

(6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	4

① 課題

施設・設備の更なる整備が課題。

② 今後の改善方策

ビルメンテナンス企業様との連携強化。

インターンシップ関係企業様との事前打ち合わせからの密なる連携を行う。

③ 特記事項

年間2回の沖縄こども保育園との合同避難訓練実施。

④ 学校関係者評価委員会コメント

真下:コロナ禍における感染予防対策検討。

安心・安全・環境の提供。(除菌・コーキング・感染対策等)⇒入学希望者 UP、教職員の採用 UP に繋げる
渡邊・岡田:特になし。

(7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

定員充足率を100%にする。

② 今後の改善方策

広報活動の更なる強化。

③ 特記事項

一般社団法人沖縄県専修学校各種学校協会に加盟し、同会で定められた生徒募集ルールに則り取り組んでいる。併せて、生徒募集専門部署である沖縄広報室を設置し、募集活動に取り組んでいる。

④ 学校関係者評価委員会コメント

真下:現在の取組を引き続き継続して頂きたい。

渡邊:御校の学生寮募集を行っているので、今後も共に頑張っていきたい。

岡田:特になし

(8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

なし

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

なし

② 今後の改善方法

【中期計画】

現在、第2次中期計画(2018年度～2022年度)の対象期間中であるが、当該計画を着実に実行すると共に今後は当該計画の公開に向けて着手していく予定である。

【財務情報の公開】

なし

③ 特記事項

なし

④学校関係者評価委員会コメント

真下・渡邊・岡田:特になし

(9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

なし

② 今後の改善方策

なし

③ 特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

真下・渡邊・岡田:特になし

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	2

① 課題

地域に対する公開講座、教育訓練の受託は未実施。

② 今後の改善方策

併設する姉妹校と連携し、ボランティアを通じて地域貢献を行っていく。

③ 特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

真下:社会貢献・地域貢献を引き続き行っていただきたい。

評価委員会で何かお手伝いできることがあれば言ってください。

渡邊・岡田;特になし

(11)国際交流(必要に応じて)

【評価項目】(評価=適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	3
受入れ・派遣、在席管理等において適切な手続き等がとられているか	4
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	2
学内で適切な体制が整備されているか	4

① 課題

ホテルが特定技能とされたが、現状外国人留学生からの入学希望が少ない。

② 今後の改善方策

外国人労働者については、企業側のニーズもあるため、留学生入学に向けて、企業連携等を全面に打ち出し、日本語学校等との連携を図りたい。

③ 特記事項

留学生取次ぎ人の資格取得者配置

④ 学校関係者評価委員会コメント

真下:コロナが落ち着けば必ず人材が必要となります。

企業連携を引き続き継続して頂きたい。

渡邊:留学生の入学に向けて連携できることがあれば行っていきたい。

岡田:特になし

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

新型コロナウイルス感染症の関係もあり、ICTを活用した教育活動については大きく前進し、対面でない状況下でも質の高い教育の提供ができた。その結果、オンライン、リモートにおける行事運営でも本物結婚式や関係企業様との連携によるイベント開催も大成功することができ、さらに全国コンテストでもブライダル科 3 期生が総合優勝を果たした。開校 4 年目での快挙にコロナ禍の学校も大きい歓声が湧いた。それだけに、退学率の低減は急務であり、あらゆる生徒も良い方向に導くことで沖縄県のブライダル、観光業界を活性化していきたい。さらなる沖縄校の発展を目指す。

【総評コメント】

渡邊：コロナ禍で大変だと思うが、教育の効果は素晴らしいと感じるので引き続き頑張ってください。